

第432回白石市議会定例会 一般質問通告書

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
1	7番 管野 恭子	<p>1. 発達障害の早期発見について</p> <p>発達障害は発達障害者支援法において、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害であって、その症状が通常低年齢において発現するものとして政令で定めるものとされている。</p> <p>発達障害者支援法が制定されるまで、発達障害は、身体、知的及び精神の各障害者制度の谷間に置かれ、必要な支援が届きにくい状態となっていたが、平成17年4月に同法が施行されたことにより、早期の発見、発達支援、学校教育における支援、就労支援、発達障害者支援センターの設置などが進んでいる。</p> <p>また、障害者基本法の改正や障害者の権利に関する条約の締結等を踏まえ、発達障害者に対する支援のより一層の充実を図るため、発達障害者支援法の全般にわたる所要の改正が行われ、平成28年8月1日に施行された。</p> <p>発達障害者に対する適切な支援がなされない場合、その特性により生じる問題に周囲が気づかずに無理強い、叱責などを繰り返すことで失敗やつまずきの経験が積み重なり、自尊感情の低下等を招き、さらなる適応困難、不登校や引きこもり、反社会的行動等、二次的な問題としての問題行動が生じることがあるとされている。</p> <p>こうした二次障害を未然に防止する上で、早期に発見し早期に適切な支援につなげていくことが特に重要であることから、発達障害者支援法では、国及び地方公共団体は、発達障害の早期発見のため必要な措置を講ずるものとし、市町村は、母子保健法に基づき実施する健康診査（乳幼児健診）において、市町村教育委員会は、学校保健安全法により行う健康診断（就学時健診）において、発達障害の早期発見に十分留意しなければならないものとしている。そこで次の点について伺う。</p> <p>(1) 本市の発達障害の早期の発見についての取り組みの状況を伺う。</p> <p>(2) 早期発見の一助となる視線計測装置「かおTV」の導入について伺う。</p> <p>当装置は、大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究所と企業が協同して開発した健康システムである。</p> <p>「かおTV」は、子供の視線から社会性発達の状態を確認することができる健康システムであり、モニター画面に流れる映像を約2分間子供が見ることで、子供が何に興味を持っていて、どのように見ているのかを客観的に知ることができるものである。この計測結果を、専門知識、技術を身につけた「か</p>	市長 教育長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	7番 管野恭子	<p>おTVオペレーター」が保護者に知らせることで、保護者は自分から見た子供ではなく、子供自身が見ている世界を知ることができ、子供への理解が深まり、また、保健師は自身の見立てだけでなく、客観的に子供の興味や関心を保護者に説明できることで、保護者の理解が得やすくなり、その後の支援、療育につなげていきやすくなる。</p> <p>大阪府では、既に1才6カ月児健診に導入している府内自治体の保護者にアンケート調査したところ、「お子さんの特性を理解するのに役立ちましたか」の問いに「役立つ」との回答が80%を超えている。</p> <p>本市においても、当装置「かおTV」を導入し、早期発見、早期支援の一助として検討すべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>(3) 発達障害理解のための市民セミナーの実施について伺う。</p> <p>総務省は、平成29年1月に出した「発達障害者支援に関する行政評価・監視結果に基づく勧告」で『発達障害者が「生きづらさ」を、その保護者が「育てにくさ」をそれぞれ感じることなく、日常生活や社会生活を営むことができるようにするためには、改正発達障害者支援法の成立を踏まえ、乳幼児期からの各ライフステージを通じた切れ目のない関係者による支援の充実のほか、発達障害に対する国民の理解の浸透を図っていくことが重要である』としており、同感するところである。</p> <p>ぜひ、本市においても、発達障害理解のための市民セミナーを実施すべきと考えるが見解を伺う。</p>	市長 教育長
		<p>2. 医療用ウィッグ購入費用の助成について</p> <p>宮城県は、平成30年度より、抗がん剤治療の副作用により脱毛した方々を対象に、医療用ウィッグ購入費用の一部を助成する自治体に対し、1万円を上限に助成額の2分の1を補助する事業を開始した。これを活用し、助成をスタートさせている県内の自治体がふえている。この事業は、がん治療しながらも仕事や地域の活動などの社会参加を後押しできるものであり、ぜひ、本市においても導入の検討を検討すべきと考えるが見解を伺う。</p>	市長
		<p>3. 液体ミルクの災害時備蓄について</p> <p>厚生労働省は、今年8月、乳児用液体ミルクの製造・販売を可能にする規格基準を定めた改正省令を施行した。改正省令では、「保存性のある容器に入れ、120度で4分間加熱殺菌」などの製造基準を設けた。こうした基準を踏まえ、メーカーは開発を本格化させることになる。販売されるまで1年以上かかるとみられているが、液体ミルクは常温で保存でき、容器に吸い口を装置すればすぐに飲め、海外では広く利用されている。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	1番 佐藤龍彦	<p>近年、夏の暑さは、大変厳しくなり、今年は、7月23日に国内観測史上最高気温となる41.1度を埼玉県熊谷市で観測し、その後も岐阜県美濃市などで、最高気温41度を記録するなど、全国的に異常なほどの高温となりました。</p> <p>この暑さのため多くの方が熱中症等で医療機関に搬送され、残念ながら命を落とした方もおります。全国的にみて、比較的涼しい地域とされている宮城県内でも、7月に名取市内の小学校で児童38人が病院に搬送されたことも報道されました。</p> <p>本市においても夏休み前後の7月や9月において30度を超える日も少なくはありません。8月22日には、最高気温が35度を超える猛暑日となりました。</p> <p>地球温暖化などの影響により夏の高温傾向が今後も予想される中、全国各地で公立の小中学校の教室にエアコンの設置を進めてほしいとの要望が出されています。</p> <p>そこで伺います。</p> <p>(1) 近年の「夏の暑さ」について市長の認識を伺う。</p> <p>(2) 現在、本市の小中学校の普通教室ではどのような暑さ対策がとられているのか伺う。</p> <p>(3) 小中学校のエアコン設置についての国の動向について伺う。</p> <p>(4) 市内小中学校において、教室内の温度測定などの調査を行なっているのか伺う。</p> <p>(5) 最近、県内でも公立小中学校の教室に、エアコンの設置を決めた自治体がふえているが、この動きについてどのように考えているのか伺う。</p> <p>(6) 本市のすべての普通教室にエアコンを設置した場合、予算はどのくらいになるのか伺う。</p> <p>(7) 本市も今後、小中学校の教室にエアコンの設置を検討していく考えはないのか伺う。</p>	市長 教育長
		<p>2. 危険なブロック塀の除去について</p> <p>近年、日本国内において規模の大きな地震が多発しています。今月6日にも北海道で最大震度7の地震が発生しております。本市も7年半前の東日本大震災など規模の大きな地震に何度も見舞われています。</p> <p>本年6月18日朝に発生した大阪府北部地震では、大阪府高槻市の女子児童が登校中に小学校のプールサイドにあったブロック塀の下敷きとなり犠牲となりました。大阪府北部地震発生後、特に学校周辺の危険なブロック塀等の調査や倒壊の危険のあるブロック塀に対しては、撤去をするために自治体が独自に補助制度を創設、あるいは制度の拡充をする動きが広がりをみせています。</p> <p>本市でも昨年度まで、スクールゾーン以外の危険なブロック塀等の除却費用の一部を交付する危険なブロック塀等除却事業補助金を実施しておりましたが、残念</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	3番 伊藤勝美	<p>を守るため厳しい訓練を行い、火災はもちろんのこと、ゲリラ豪雨など風水害などの災害時にも迅速に対応をしていただいております。消防団組織の充実、本市の地域防災力の中核として、必要不可欠なことであると考えます。</p> <p>消防団の特徴は、地域密着や即時対応、要員の動員力にあります。その機能を生かすためには、地域で必要な団員数を確保しなければなりません。しかしながら、急速な少子高齢化、サラリーマン団員の割合、平均年齢の上昇などさまざまな要因で、全国的に消防団員数は年々減少し、団員の確保に大変苦慮をされているようです。</p> <p>そこで、消防団についての課題に取り組むため、平成25年12月「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が成立しております。消防団の強化につながる法律として期待するところではありますが、法律成立後、どのように変化をしたのか、4点伺います。</p> <p>(1) 法律の第3章の基本的施策第14条では、消防団活動が従来からの消火活動や予防・啓発活動にとどまらず、大規模災害における救助活動や避難誘導などに広がりを見せるため、消防団の装備の充実、改善が必要であると定められています。本市消防団の装備充実はどのように改善してきたのか、また今後どのように進めていくのかお伺いします。</p> <p>(2) 市職員の消防団員の加入についてであります。公務員の消防団員との兼職に関する特例が法律第10条にあります。公務員が消防団として活動することは、地域防災の推進を図る上で地域住民からも理解が得られやすいとともに、職員にとっても防災行政の理解促進につながります。今後市職員に対してどのように考えているのか、お聞かせください。</p> <p>(3) 女性消防団員の存在や活動についてです。災害時に、避難所などで高齢者や女性、子供などに対し、ソフトで細やかな配慮ができる女性消防団員の役割にも大きな期待が寄せられています。女性消防団員の増加に向け、充足率も合わせ、どのように取り組んでいくのか、お聞かせください。</p> <p>(4) 消防団の活動及び報酬についてであります。消防団は、男女にかかわらず地域を守る崇高な使命感を持って活動を行っていると思っておりますが、年間どれくらい出勤（出勤・訓練等）しているのか、また消防団員の処遇としての、団員の年額報酬、活動に対する費用弁償等について、その職責と日頃の御労苦に報いるためにも、報酬額の引き上げに取り組んでいただきたいと思っておりますが、見解をお聞かせください。</p>	市長
		<p>2. 河川の防災対策について 昨今、経験したことのない異常な集中豪雨等によっ</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	3番 伊藤勝美	<p>て、洪水・土砂災害などが全国各地で発生しております。特に最近は、大きな河川の氾濫はもとより、異常気象による局地的な集中豪雨で、中小河川などの氾濫などが極めて短時間で続出し、狭い範囲での道路の破損・冠水、河川法面の崩壊、住宅への浸水、田畑の冠水など、甚大な被害をもたらす災害がふえていると言われております。</p> <p>本市には、宮城県管理の河川が11河川流れており、また、多くの中小河川が流れております。一部の河川においては、堤防の部分崩落や樹木・雑草などが生い茂ったり、土砂の堆積が進んだりしている箇所が見受けられます。防災上の観点から、台風やゲリラ豪雨のような想定外の雨が降ると大変危険なことになるのではないかと考えます。</p> <p>(1) 斎川、谷津川などの現状をみますと、河川敷への樹木・雑草が繁茂し、土砂などの堆積が進んでいるようですが、このような箇所の状況を河川管理者は巡視をされているのでしょうか、さらに把握もされているのかどうかお聞かせください。</p> <p>(2) 災害を未然に防ぐための対策の一つとして、河川敷の雑木・雑草などの撤去、それから堆積した土砂などのしゅんせつが必要不可欠であると思いますが、関係自治会からの要望等への対応は、どのような仕組みになっているのか、お聞かせください。</p> <p>(3) 本市には、県管理以外の中小河川が多くありますが、樹木・雑草が繁茂し、土砂などの堆積が進んでいるような箇所の状況を巡視、把握をされているのかどうか、お聞かせください。</p>	市長
		<p>3. 公共工事発注金額の表示について</p> <p>公共工事発注金額の施工現場への表示について伺います。</p> <p>最近、公共事業の透明性とコスト意識の向上を図ることを目的として、その事業に係るコスト、つまり工事の金額を「現場に掲示する看板」でお知らせするという自治体がふえております。</p> <p>市民にとっては、みずからの払った税金が工事という形で使われるのを目の当たりにし、現場を見て有益な工事であると感じれば納税意識も高まるかもしれません。</p> <p>また、請負側の事業者や現場で作業にかかわる方々にも、どのくらいの税金がこの工事で使われているのかを知ることが、質の高い工事につながるのではというふうにも期待できると考えます。</p> <p>そしてまた、工事を発注する職員の方々にも、市民から預かっている大切な税金をどのくらいで、どんな形で使っているのかというコスト意識の向上につながる等の観点からも、公共工事金額の掲示は市政に有効であると考えます。本市でも実施してはどうかと考え</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	3番 伊藤勝美	<p>ますが、見解を伺います。</p> <p>4. 本市の文化財等について</p> <p>本市の文化財、歴史、遺跡、伝統など（以下「文化財等」という）の歴史資料は、次世代を担う子供たちにとって、地域の誇りとして郷土を愛する心を育むのではないかと思います。また、文化活動を通じた人々の交流は、互いに心を通わせ、それぞれの地域の文化を共有、ネットワーク化することにより、理解し、尊重し合う土壌を育むことができます。</p> <p>白石市の風土で生まれ、長い歴史と伝統の中で受け継がれてきた文化財等は、市民の財産として後世に伝えるとともに、市民共通の財産として適切に評価し、地域の誇りとして価値を高め、生きた文化財として積極的に活用していく必要があると考えます。</p> <p>以上のことを踏まえ、「文化財等」の歴史資料を市民共通の財産として次世代に引き継ぐための取り組みについて伺います。</p> <p>(1) 市の「文化財等」の歴史資料はどのように管理され、またどのように市民共通の財産として周知されているのか、現状について伺います。</p> <p>(2) 市の「文化財等」の歴史資料に対する助成状況、その効果と活用状況についてお聞かせください。</p> <p>(3) 市の「文化財等」の歴史資料に触れる機会がふえることは、市民が地域資源を魅力として理解し、誇りや愛着心を持つ機会の増進につながり、学校教育現場においても活用できると考えます。</p> <p>そこで、市の「文化財等」の歴史資料を地図情報や動画と連携し、わかりやすく解説した情報や、市の収集資料をデータベース化した情報をインターネット上のデジタルミュージアムとして公開することを提案したいと思いますが、見解をお聞かせください。</p> <p>(4) 本市は、郷土歴史資料を収集保存する資料館の建設事業の財源とするための基金を設けていますが、今後における郷土資料館の建設等についての見解をお伺いします。</p> <p>(5) 本市の姉妹都市である登別市では、中学校の統廃合により、使われなくなった学校施設を遺跡・考古学をテーマとした「のぼりべつ文化交流館カント・レラ」として再利用されています。本市にとっても参考になると考えますが、見解をお聞かせください。</p>	市長 市長 教育長
4	18番 佐久間儀郎	<p>1. 地理的表示（GI）保護制度の活用支援について</p> <p>農林水産省は8月6日、地理的表示（GI）保護制度の対象に、本県の岩出山凍り豆腐を含む東北地方4品目を新たに加えたことを発表しました。このことは、地元紙にも大きく報じられました。</p> <p>平成26年6月に「特定農林水産物等の名称の保護に</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	18番 佐久間 儀 郎	<p>関する法律」いわゆる地理的表示法が制定されましたが、地理的表示（G I）保護制度は、地域で育まれた伝統と特性を有する農林水産物・食品のうち、品質等と特性が産地と結びついており、その結びつきを特定できるような名称である地理的表示が付されているものについて、これを知的財産として保護し、もって、生産業者の利益の増進と需要者の信頼の保護を図ることを目的としています。</p> <p>登録された地域の特産品には、地域で育まれた農林水産物などの伝統と品質基準を守る証で、原産地を特定する表示のG Iマークがつけられ、これは、製品の品質に、国が国内にとどまらず国外にも「お墨つき」を与えるものです。規準を満たした生産者だけがG Iマークをつけることができるため、地域ブランドを守りやすくなります。</p> <p>本市には、地理的表示（G I）保護制度の対象に推奨したい産品があります。そこで、以下を伺います。</p> <p>(1) 「ころ柿・樽柿」「白石うーめん」は、本市特産品の代表格と考えますが、これまで、本市の特産品について地理的表示（G I）の登録を考えたことがあるのかをお聞きします。</p> <p>(2) 奥州白石温麺協同組合が、「白石うーめん」について地理的表示（G I）の登録の研究をされていると承知しています。</p> <p>地域の共有の財産的価値を保護することになる、地理的表示（G I）の登録は、本市地場産業、地域振興に必ず寄与すると確信します。「白石うーめん」の地理的表示（G I）登録が実現するように、行政も関与・連携するのが望ましいと考えますが、当局のご所見を伺います。</p>	市 長
		<p>2. エアコン冷房設備の設置について</p> <p>第431回6月定例議会の一般質問で「熱中症対策」を取り上げ、その中で、学校現場に熱中症指数計を設置し、熱中症事故予防に生かすよう提言しました。同時に、市内各学校の冷房化率が低いことから、本市の小中学校普通教室にエアコン冷房設備の設置が望ましいと申し上げていました。</p> <p>夏休み前から、暑い環境で学校生活する子供の健康、命を気遣う保護者の声を耳にしていましたが、今夏は、国内で41度超を記録するなど、気温35度を超す猛暑日が多くありました。立秋を過ぎたこの時期でも、和らいだものの、まだ暑苦しく感じる日があります。</p> <p>暑さ対策は緊急課題です。もはや、冷房設備の設置が望ましいと、悠長に構えた進言にはとどまれません。以下、お伺いします。</p> <p>(1) 本市の子供たちが健康で安全に学校生活を送ることができるよう、速やかにエアコン整備計画をたてるべきです。当局のご所見を伺います。</p>	市 長 教 育 長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	18番 佐久間 儀 郎	<p>(2) 文部科学省の2019年度予算の概算要求案が先月末、明らかになりました。普通教室のエアコン設置などを加速する対策費等が大幅に増加しています。もちろん、今後査定はありますが、国庫補助金である「学校施設環境改善交付金」等の増額が期待できるのではないのでしょうか。当局は、どのように捉えていますか。</p> <p>(3) 本県富谷市が、市立幼稚園と小中学校全15校にエアコンを整備する方針を明らかにしました。来年夏からの稼働を目指し、全ての普通教室や職員室など計312室に設置しようとしております。まず、調査費を一般会計予備費から支出すると報じられました。</p> <p>今年の猛暑を受け、学校のエアコン設置にかかる財政支援に積極的になった国の動向を見ながら、今後関連事業費を予算計上するということです。追従にはなりますが、本市でも決断すべきではないのでしょうか。</p>	市 長 教 育 長
		<p>3. 通学路等の交通安全対策について</p> <p>平成24年4月の京都府亀岡市での事故を初めとして、登下校中の何の落ち度もない児童が車にはねられて命を落とすという痛ましい事故が、相次いで発生したことがありました。こうした状況を踏まえて文部科学省、国土交通省、警察庁の3省庁が連携し、関係機関が協働して「合同安全点検」などの通学路における交通安全を早期に確保する取り組みが全国展開されました。</p> <p>本市でも平成24年8月に各小学校の通学路において関係機関と連携して緊急合同点検を実施しています。そして、この取り組みを一過性のものに終わらせることなく、関係機関の連携体制を構築し、平成28年3月、「白石市通学路等交通安全プログラム」を策定しています。</p> <p>合同点検を継続するとともに、安全対策の実施及び改善・充実を図ることを基本として、取り組みをPDCAサイクルとして繰り返し実施して、児童・生徒が安全に通学できるようにするものであります。私は、通学路等の安全を確保する積極姿勢を高く評価するものです。以下、伺います。</p> <p>(1) これまでの通学路危険箇所点検の結果を見ますと、8カ所の対策が必要とされており、まだ、半数が現状維持や対策・要請中のものが残っているようです。</p> <p>私は、大平小学校の森合地内、市道中道2号線付近を確認してまいりましたが、車道の障害こそないものの、点検で指摘されていた「いろいろな物が置いてあり道路にはみ出して、歩道を塞いでいる」状況は、依然として改善されておられません。</p>	市 長 教 育 長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	18番 佐久間 儀 郎	<p>根本の解決に向けて、今後の対応方を伺います。</p> <p>(2) 市道中道2号線に通じる北東側の金坪川沿い市道（下森合線及び沖の沢郡山線）も、通学路であり、歩道もない上に、一部区間は川際にガードレール設置もなく、児童との車の間隔は1メートルもなく、いつ事故が発生してもおかしくない状況でありました。地元では、やむにやまれず数カ所に「通学路 嚴重注意」と表示した看板を設置して、通行車両に注意を促しています。</p> <p>白石市通学路等交通安全プログラムの合同点検箇所を含めて、早急な安全対策を講じる必要があると考えます。当局の見解をお聞かせください。</p>	市 長 教 育 長
5	15番 佐 藤 秀 行	<p>1. 「小中学校のエアコン設置」について</p> <p>文部科学省が実施した「公立小中学校の冷房設備設置状況調査」によると、2017年4月時点で普通教室にエアコンが設置されている全国の小中学校は、20年前の3.7%から大幅にふえたものの49.6%にとどまっています。猛暑が続くようになった数年前から、エアコンの設置を要望する保護者がふえていたということで、学校側もそうした声を教育員会に伝えていますが、多くの自治体が「予算がない」ことを理由に設置を先送りしています。都道府県の設置率格差について、文部科学省は「設置するかどうかは、自治体がそれぞれの事情を考慮して判断すること」との見解を示しています。</p> <p>今年は記録的な暑さが続き、全国で熱中症とみられる被害が相次ぎました。気象庁が「災害級」の危険な暑さと表現したほどです。子供の暑さ対策、熱中症対策としてエアコンの積極的な活用が必要ですが、実際教室にエアコンが設置されている学校は多くはありません。</p> <p>文部科学省は猛暑で教室にエアコン設置を求める声が高まったのを受け、2019年度の概算要求にエアコン設置など公立学校の施設整備費として2,414億円を盛り込む方針を決めました。小中学校のエアコン整備については、国の「学校施設環境改善交付金」で設置費用の3分の1が補助されます。文部科学省はエアコン設置は推進するとしています。</p> <p>富谷市は、市立の幼稚園と小中学校全15校にエアコンを整備する方針を明らかにしました。全ての普通教室や職員室など計312室に設置し、来夏から稼働させます。設置に向けた調査費約1,400万円を一般会計の予備費から支出し、総事業費などを把握するという事です。今年の猛暑を受け、学校のエアコン設置にかかる財政支援に積極姿勢になった国の動向を見ながら、関連事業費を今後、予算計上するとしています。</p> <p>子供たちの命と学習環境を守るためにも、市としても早急な対応が必要であると考えます。本市の設置状</p>	市 長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	15番 佐藤 秀行	況を踏まえて、小中学校のエアコン設置について、市長の所見を伺います。	市長
		<p>2.「白石川サッカー公園」について</p> <p>白石川サッカー公園は、平成16年11月に完成し、今年で14年目を迎えます。年間利用者数も大変多く、平成28年度申請295件21,000人、平成29年度申請245件17,000人と、有効に活用されていると認識しています。</p> <p>そんな中、今年の夏は例年にない猛暑で、サッカーに限らず、子供たちが、そして大人がスポーツをする環境としては大変厳しいものがありました。サッカー場利用者の声を聞くと、選手が休むために日よけが欲しい、日陰になるものが欲しいという切実な声が多く聞かれました。現在サッカー場は、ベンチに座る椅子はあるものの、雨風をしのぐもの、あるいは熱中症対策にもなる日陰がほとんどなく、突然の自然現象に十分に対応できない状況です。このような状況に鑑み、今後固定式のものではなく、移動が可能な、また可動できるものを設置すべきではないかと考えます。命を守るためにも、望ましいスポーツ環境のためにも、早急に対応することが望まれます。市長の所見を伺います。</p>	市長
		<p>3.「全国学力学習状況調査の結果」について</p> <p>文部科学省が7月31日に公表した本年度の全国学力テストの結果について、各自治体の結果を独自に公表する県内の市町村は全体の約3割に当たる10市町村にとどまることが1日、河北新報社のまとめでわかりました。公表するか否かは、政令市を除く各市町村教育委員会に判断が委ねられており、対応が分かれました。</p> <p>公表する10市町のうち、白石市は今回が初めてで、半沢教育長は「結果は年によってばらつきがあり、教育の質の安定が課題。課題を広く共有したい」と説明している記事が、新聞に掲載されました。本年度の全国学力テストは、仙台市を除く県の平均正答率が小学校5科目で全国最下位、中学校5科目で30～40位と低迷しています。</p> <p>このことについて、次の点についてお伺いします。</p> <p>(1) 本市の結果をどのように分析・考察されたのか、所見をお伺いします。</p> <p>(2) 過度な競争や序列化が進む事態を懸念する、点数の高低ではなく、子供の生きる力を重視しているという考えもある中で、本市としてあえて公表するに至ったことについて、見解をお伺いします。</p> <p>(3) 市として、学力向上に向けての今後の取り組みについてお伺いします。</p> <p>(4) 児童生徒質問紙調査結果の中で、小学生の普段の読書時間は、全国・県と比べ大幅に下回っています。これは、大きな問題であるにとらえます。市内の小中学校においては、全校一斉読書の取り組みがほぼ</p>	教育長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	15番 佐藤 秀行	<p>定着して、毎朝10分ほどの読書時間を設けることで、落ち着いた雰囲気です1時間目の授業に入っていけるなどの効果も出ています。</p> <p>そこで、小中学生の発達段階それぞれにおいて読書意欲をさらに高めていくために、朝の読書活動など、現在行われている取り組みの充実を図りながら、また、小学校での読書活動がさらに活発になるよう、読み聞かせの方法や、図書分類などを学ばせ、各学校で活躍する読書リーダー、読書の楽しさを伝える読書リーダーのような人材を育てていくことも重要であると考えます。身近なところから読書の重要性を発信していくことが大切であると思います。</p> <p>このような取り組みについて、どのようにお考えになるか、また何か他に具体的な取り組みとしてお考えがあるのか、教育長の所見を伺います。</p>	教育長
6	16番 松野 久郎	<p>1. 姉妹都市・友好都市について</p> <p>国内姉妹都市として、登別市・海老名市、友好都市として、札幌市白石区とスポーツ交流や中学生の主張発表会への派遣、親善水泳大会など青少年による交流を中心に、観光・物産、教育・文化など、多方面で活発な交流を続けております。</p> <p>国際姉妹都市では、オーストラリア国ハーストビル市（現在のジョージズ・リバー市）と、使節団の受け入れや友好親善使節団の派遣で、青少年の相互交流を中心に、親善を深めておりますが、今後の国際姉妹都市について伺います。</p> <p>(1) ハーストビル市は平成28年5月に隣接市と合併し、新たに「ジョージズ・リバー市」になりましたが、今後の対応について伺います。</p> <p>(2) ハーストビル市の合併後は、友好親善訪問団として、日本と縁が深いカウラ市に訪問しておりますが、今後もカウラ市との交流を続けて行くのか、続けて行くのであれば、国際姉妹都市として新たに提携する考えなのか伺います。</p> <p>(3) 2020年東京オリンピック大会でのベラルーシ共和国新体操チーム事前合宿招致が決定し、「SAKURA CAMP」を開催するなど、ベラルーシ共和国との交流を行っておりますが、2020年東京オリンピック大会終了後のベラルーシ共和国との交流をどのように考えているのか伺います。</p> <p>(4) ベラルーシ共和国とは、宮城・ベラルーシ協会、仙台市では、ミンスク市と姉妹都市を提携しております。6月にベラルーシ共和国を訪問した際、本市との交流を希望していた、シクロウ市との交流を検討すべきと考えますが、いかがか伺います。</p> <p>2. 有害鳥獣被害防止対策について</p> <p>本市においては、平成24年8月に白石市鳥獣被害対</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	16番 松野久郎	<p>策実施隊設置要綱を策定し施行しておりますが、現在はイノシシが主体となっております。イノシシの被害も農作物のみならず、土手や道路への被害も甚大であります。サルによる被害も市内の広域にわたって発生していることから伺います。</p> <p>(1) これまで、小原地区に7つの群れが確認され、うち3つの群れに発信器を付けて行動パターンを調査していると思っておりますが、現在の分布と被害の状況を伺います。</p> <p>(2) 有害鳥獣追い払い用花火のあっせんを行ってきました。予定数量に達した段階で受付を終了することでしたが、効果及び現在のあっせん状況を伺います。</p> <p>(3) 農林水産省の野外鳥獣被害防止マニュアル等にも掲載されておりますが、電気柵やしなる支柱とネットの組み合わせによる防護柵等を用いても、侵入をおくらせる効果はあっても、侵入を防ぐことはできないとあります。本市であっせんしているロケット花火等の効果については、戸々の活用では効果は少ないとありますが、サルが発見されたら、その地域で一斉に花火を打つことで効果が大きかったとの実践例もあります。戸々の方が一斉に活用するのは連絡等も含め難しいことから、行政指導のもと鳥獣被害対策実施隊の協力や地域の方への実践指導を提案しますが、いかがか伺います。</p>	市長
		<p>3. 白石市役所における障害者雇用の状況について 中央省庁障害者雇用の水増しの問題が浮き彫りとなり、水増しは自治体にも拡大しており全国調査を実施するよう指示したとの報道がありました。現在の白石市の雇用状況について伺います。</p>	市長
		<p>4. 小学校の統合後の状況及び中学校統廃合の準備状況について 斎川小学校統合後の児童の状況と南中学校及び白川中学校の統廃合準備状況について伺います。</p> <p>(1) 斎川小学校が統合されて、初めての夏休みも終わりましたが、夏休み中の児童の様子も含めた状況について伺います。</p> <p>(2) 南中学校、白川中学校について、各専門部会からの報告や提言等の内容、それを踏まえた準備委員会での決定事項や課題等について伺います。</p> <p>(3) 斎川小学校の跡地利用について、具体的な今後のスケジュールがどこまでできたのか伺います。</p>	教育長
7	13番 菊地忠久	<p>1. 「農商工連携を核とした賑わい交流拠点」(しろいし Sun Park) について</p> <p>(1) こじゅうろうキッズランドについて ① これまでの利用状況を伺います。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	13番 菊地忠久	<p>② これまでの利用状況を踏まえ、率直な感想を伺います。</p> <p>③ 実際に運営していく中で、課題も出てきたと聞きます。それらの課題にどのように対処するのか伺います。</p> <p>(2) おもしろい市場について</p> <p>① 運営事業者が「NPO法人小十郎まちづくりネットワーク」に決定しましたが、決定に至る経緯を伺います。</p> <p>② 当初、本年12月のオープンを予定していましたが、来年4月オープンに変更となった理由を伺います。</p> <p>(3) 今後、各施設が開設していく中で、「しろいし Sun Park」内での緊密な連携が非常に重要だと考えますが、どのように連携していく予定か所見を伺います。</p>	市長
		<p>2. 将来的な小中学校の統廃合について</p> <p>本年4月に斎川小と白石第二小が統合され、来年4月には南中と白石中、白川中と東中が統合されます。全国的な少子化の流れが止められない中、本市も主に現在の中学2年生が生まれた平成16年の出生数は303名でしたが、平成29年は201名まで減少しています。そして今後、出生数はさらに減少することが、すなわち小中学生の人数は減少することが推計されています。</p> <p>そこで、児童・生徒の教育環境を第一に考えるのは言うまでもありませんが、持続可能な自治体運営等さまざまな角度から検討すれば、将来的な小中学校の統廃合も視野に入れなければならないと考えます。</p> <p>将来的に統廃合を「する」「しない」は、これからの議論の結果によるところですが、小中学生の人数が減少していくのは明らかであり、将来を見据えて、今から議論を開始すべきだと考えますが、所見を伺います。</p>	市長 教育長
		<p>3. 市長によるトップセールスについて</p> <p>山田市長は、自らが白石市のセールスマンとして積極的にPRや陳情等を行うことを述べておられます。首長自らがトップセールスを行うことの重要性や、実際に山田市長が行動なされていることは理解しております。</p> <p>(1) 本年度、県外への出張は月平均何回あるのでしょうか。</p> <p>(2) トップセールスを行うにあたって、特に心がけていることは何か伺います。</p> <p>(3) 山田市長のバイタリティーからすれば、もっと市内外へPR等、発信できると考えますが、所見を伺います。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	13番 菊地 忠久	<p>4. 白石市民バスを「グーグルマップ」で検索可能にしてはどうか</p> <p>「グーグルマップ」を使用している人は多く、ある企業が行った調査では、2017年に日本では月平均約3,300万人がグーグルマップのアプリを利用したという結果が出ています。これは、グーグルマップに情報を掲載すれば、それだけの人に情報をリーチできる可能性があることを示しています。</p> <p>グーグルマップには、バスや電車など、公共交通機関について出発地と目的地を指定して最適なルートを探るといった経路検索機能があり、地方のバス会社ではグーグルマップ上でバス停位置や時刻表を検索可能にすることで、利用者をふやそうという取り組みが始まっています。</p> <p>バス路線がグーグルマップに反映されていない本市の場合、例えば東京駅から鎌先温泉まで公共交通機関での経路を検索すると「経路が見つかりません」と表示されてしまいます。</p> <p>グーグル社と契約し、指定されたURLに「G T F S」(General Transit Feed Specification)と呼ばれる形式のファイルを置くことで、自動的にグーグルマップに情報が掲載され、ダイヤ改正などでもファイルを更新すれば反映されます。リアルタイムの情報を提供するファイル形式を整備すれば、バスのおくれまで反映した経路検索が可能になるというものです。</p> <p>また、このG T F S形式のデータ作成用のソフトは無償提供されており、例えば、青森市営バスはこの無償ソフトを使って、本年4月よりグーグルマップでの経路検索ができるようになりました。</p> <p>本市でも「白石市民バス」をグーグルマップに掲載可能にすることで、新たな観光客の誘致と利便性の向上を図るべきだと考えますが、所見を伺います。</p>	市長